

国語科指導案

1 単元名 魅力的な提案をしようー思考ツールを活用したスライド作成を通してー

2 単元目標

(1) 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。

〔知識及び技能〕(2) ア

(2) 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕A (1) イ

(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

「学びに向かう力、人間性等」

3 本単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解しようとしている。 ((2)ア)	①「話すこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫しようとしている。 (A (1)イ)	粘り強く思考ツールを活用して主張を支える理由や根拠を検討し、学習の見通しをもって聞き手が納得できる魅力的な提案をしようとしている。

4 単元設定の理由

(1) 本単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、学校生活をよりよくするためにどのような提案ができるかを考え、スライドを使ってプレゼンテーションする言語活動を行う。これは、中学校学習指導要領解説国語編（平成 29 年告示、以下「学習指導要領」）の第 2 学年、2〔思考力、判断力、表現力等〕A 話すこと・聞くことの言語活動例ア「説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたり活動」を踏まえている。2 学年の後期になり、生徒会活動や部活動で中心となる立場となったこの時期に、自分たちの学校生活を振り返らせ、今後の学校生活の改善点を自分たちの視点で見出し、実行していく力を付けさせたいと考えた。ただ、周囲と協力し実行していくためには、伝えたい内容を分かりやすく表現することだけでなく、理解を得るための筋の通った根拠が必要になる。

そのため、主張と根拠の整合性を吟味できるように思考ツールを使用し、主張に至った経緯を整理したり主張を支える理由や根拠を検討したりしながら、スライドを作成する言語活動を設定した。

なお、学校生活をよりよくするというのは、委員会の取り組みを通して生徒たちの力でできる範囲で改善策を提案し、実行することだと考える。そのため、本単元におけるグループは、各委員会を基本としたものとする。そうすることで、実生活に即した提案を考えることができる。また、中間報告をする相手も同委員会の他グループとすることで、プレゼンテーションの視覚的な効果ではなく、提案の内容や論理構造に視点がいくものとする。

また、今回の学習では思考ツールを視覚資料として提供することを活動に取り入れるが、思考ツールは小学校の学習でも「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」と学習指導に関わらず取り入れられているもので、学習者の段階に応じてより深く、より細かに活用できるものである。学習指導要領の小学校5・6年生〔知識及び技能〕（2）情報の扱い方に関する事項ア「原因と結果など情報と情報との関係について理解すること」とも関連付け、主張と根拠の関連が提示できる思考ツールを資料に生かす。さらに、聞き手として、話し手の思考の流れを把握しやすくする意図でも、今回はこのような活動を取り入れたいと考えた。

主にスライドに使用する思考ツールとして想定しているものは、マインドマップ・KJ法・ピラミッドストラクチャー・SW法・PREP法である。

マインドマップ…委員会の役割をもとに、必要だと思う活動はどのようなものが考えられるか広げ、関連付ける。

KJ法…断片的な情報・アイデアを整理する。種類や内容など関連性のあるものを分類する。

ピラミッドストラクチャー…主張・理由・根拠を体系化することで、その後の論理を整理する。

SW法…S（strong）＝強みとW（weak）＝弱みを分類し、特に弱みについて改善案を考えることで、多角的に捉えることができる。

PREP法…これまで整理してきた自分の主張とその根拠を、point（結論）reason（理由）example（具体例）point（結論）という双括型の形式に当てはめて主張を明確にする。

これらのツールを、思考の流れに合ったものを自分で選びながら、視覚化して説明するための資料とする。ここに挙げた思考ツール以外のものも単元内で紹介し、既習の思考ツールにおいても生徒自身が使用することも期待できる。なお、これらの思考ツールはあくまでも資料としての位置付けであり、使用すること自体を目的としてはいない。しかし、本校生徒の実態として、聞き手が主張や論理の展開を理解することに難しさを感じていることから、これらを生かした資料作りをすることが聞き手意識にもつながると考える。

（2）本単元で身に付けさせたい力

本単元は、学校生活をよりよくするための提案をするスライドを作成し、プレゼンテーションするという活動を通して、中学校学習指導要領第2学年「A話すこと・聞くこと」の(1)イ「自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる」ことを目指すものである。本学習では、提案資料を作成するにあたり、思考ツールの活用を通して、自分の主張とその根拠を整理して、話の構成を工夫する力を身に付けさせたい。なお、ここで挙げる根拠とは、現在の委員会の仕事内容と、自分の考える、または理想とする委員会の在り方の差、これまで見聞した他校等の委員会の仕事内容との差などを指す。そのような思考の流れを整理した思考ツールをスライドにあえて入れることで、聞き手に対しても意見と根拠の関係について理解する力を身に付けることを意図している。

5 指導と評価の計画

時	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○「モアイは語る」を中心に、これまでの意見文の構成を確認する。 ○さまざまな思考ツールの種類と活用方法を知る。 ○これまで学習した教材を、思考ツールで整理する。	〔知識・技能〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕	ワークシート
2	○学校生活をよりよくする視点で、提案を考える。 ○思考ツールを使って、論理の構成を考える。	〔思考・判断・表現〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕	ワークシート
3 ・ 4	○自分の考えを提案するうえで、必要な思考ツールを選択しながら、スライドを作成する。 ○原稿を考える。	〔知識・技能〕 〔思考・判断・表現〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕	ワークシート google スライド
5 本時	○提案をするための論理の構成の適性を小グループで交流する。 ○原稿とスライドを作成する。	〔思考・判断・表現〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕	google スライド 観察
6	○小グループで交流をする。 ○交流を踏まえてスライドと原稿を再構成する。	〔知識・技能〕 〔思考・判断・表現〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕	google スライド 観察
7	○スライドを使って発表する。 ○学習の振り返りを行う。	〔思考・判断・表現〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕	google スライド

【単元の流れ】

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○学習のねらいや進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ○「モアイは語る」を中心に、これまでの意見文の構成を確認する。 ○さまざまな思考ツールの種類と活用方法を知る。 ○これまで学習した教材を、思	・思考ツール【ロジックツリー】を使って、構成を確認する。 ・様々な思考ツールを、具体例を挙げて紹介し、活用方法を理解させる。	〔知識・技能〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ワークシート ・文章の構成把握と思考ツールの使い方

	考ツールで整理する。	・「モアイは語る」や「クマゼミ増加」、1 学年で学習した、「ちょっと立ち止まって」を、複数の思考ツール（〔ピラミッドストラクチャー〕〔PREP 法〕）で整理させる。	
2	○前時の構成について確認する。 ○学校生活をよりよくする視点で、思考ツールを使って提案を考える。 ○思考ツールを使って、論理の筋道を考える。	・委員会などの組織を運営する立場に立って、自分たちの力で改善できる視点で、提案を考えさせる。 ・どの思考ツールを使えばいいか悩んでいる生徒に対しては、マインドマップで現在の委員会の仕事内容や必要だと思うことを挙げさせ、KJ 法で分類して自分の中での必要性の高いものを主張として掲げるなどの支援を行う。 ・主張を支える根拠となる情報や、具体的な内容を考えさせる。	〔思考・判断・表現〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ワークシート ・思考ツールを活用した自分の意見の形成
3 ・ 4	○自分の論理の筋道を確認する。 ○思考ツールを活用しながら、原稿を考える。	・前時までのワークシートで自分の主張と論理を確認させる。 ・自分の主張と、それを支える根拠などが聞き手に伝わるような原稿を考えさせる。	〔思考・判断・表現〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕 google スライド ・提案の論理の妥当性の検証 ・提案に適した思考ツールの使い方 ・自分の提案が伝わる原稿作成

5	○第1次小グループ交流をする。 ○自分の考えを提案するうえで、必要な思考ツールを選択しながら、スライドを作成する。	・原稿とこれまでの思考ツールで、主張が整理されているかを確認させる。 ・必要に応じて、アドバイスをさせる。 ・聞き手に伝わるような論理の展開や、伝えるべき情報の取捨選択をしながら、原稿を考えさせる。	〔思考・判断・表現〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕 google スライド ・提案の論理の妥当性の検証 ・提案に適した思考ツールの使い方 ・自分の提案が伝わる原稿作成
6	○第2次小グループで交流をする。 ○交流を踏まえてスライドと原稿を再構成する。	・スライドと原稿の整合性や情報の取捨選択が適正にされているかを確認させる。 ・聞き手に伝わるような論理の展開や、伝えるべき情報の取捨選択をしながら、原稿を考えさせる。	〔思考・判断・表現〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕 google スライド ・提案の論理の妥当性の検証 ・提案に適した思考ツールの使い方
7	○スライドを使って本文を要約し、全体で発表する。 ○スライドやチャートの相違点や共通点を確認する。 ○全体の振り返りを行う。 ○スライドを使って発表する。 ○学習の振り返りを行う。	・前時で作成したスライドを発表する。 ・発表を見聞きしながら自他の提案方法の違いなどを確認させる。 ・資料の効果にとどまらず、主張と根拠のつながりと思考ツールの適正について振り返らせる。	〔思考・判断・表現〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕 google スライド ・相互の読み取り方の整理及びその姿勢 ・学習の振り返り

6 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫した原稿やスライドを作成することができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)イ
- ・意見と根拠など、情報と情報との関係について理解し、グループ内で協議しようとする。
「学びに向かう力、人間性等」

(2) 展開

時間	主な学習活動と内容	指導上の留意点	評価規準・評価方法
7	○前時までの振り返りを行う。 ○本時の活動について確認する。	・自分の意見を支える流れで、原稿が作られていることを確認させる。 ・今日の目標は提案の妥当性と、意見と思考ツールの整合性を確認することなので、体裁などにはこだわりすぎずにアドバイスをすることを確認する。 ・発表時間は、本番は5分以内、スライドの枚数には制限をかけないこと、今日の中間では主張に至った思考の流れを主に確認するために、スライド資料として使用しようとする思考ツールを提示することを確認する。	
		中間交流会で、意見と資料の整合性を確認しよう。	
25	○小グループで交流をする。 ①原稿と構成で、自分の意見などを話す。 ②意見を提示する上で、自分が使おうとしている思考ツールを提示する。	・原稿とこれまでの思考ツールなどの資料で、主張と根拠が整理されているかを確認させる。 ・思考ツールの選択や表現、話をする上で伝える情報の取捨選択について、アドバイスをさせる。	◆意見交換しながら、意見と根拠のつながりや論理の展開についての話し合いをしている。 (観察) (スライド コメント)

	アドバイスの視点 ・委員会の役割を理解し、提案している。 ・具体的な取り組みが提示されている。 ・その取り組みに至った経緯が伝わる。 ・スライドの特長を生かしている。 ・原稿の内容。		
13	○交流を受けて、必要な思考ツールを選択しながら、スライドと原稿を再考する。	・交流でもらったアドバイスの中で、自分の意見に有効なものを考えながら資料作成をさせる。 ・必要に応じて、作成しながらアドバイスの確認などを行ってもよいことを伝達する。	◆主張とそれを支える根拠、およびそれを支える資料の関係の表し方を理解している。 (スライド) (ワークシート)
5	○現時点での進捗を確認する。 ○振り返りを記入する。 ○次時の見通しを持つ。	・振り返りシートに今日の目標、今日の内容、取り組みの姿勢、自分の課題を記入させる。	

(3) 本時の評価

- ・自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫した原稿やスライドを作成している。

[思考・判断・表現] A (1) イ

- ・意見と根拠など、情報と情報との関係について理解し、グループ内で協議しようとしている。

[主体的に学習に取り組む態度]

7 参考文献・参考資料

- ・永野恵美 (2019) 『「フレームワーク」の思考法を活かす！プレゼンテーションを位置付けた国語授業』 明治図書出版
- ・吉川芳則 (2022) 『「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価』 明治図書出版